

問 題 訂 正

教科： 小論文 (法 学部)

問題冊子に、次のとおり訂正があります。

問題訂正

- ・ 科目名：小論文
- ・ 問題冊子 5 ページ
- ・ 問題文の 下 から 10 行目

(誤) . . . 競走に入る前

(正) . . . 競争に入る前

以下の文章は、猪木武徳『自由と秩序—競争社会の二つの顔』(中公文庫, 2015年 [2001年に中央公論新社から刊行された同名の書を文庫化したもの])の「競争社会の二つの顔」と題する章の一部から抜粋し、出題用に編集を加えたものである。この文章を読んで、後の問いに答えなさい。

この部分につきましては、
著作権の都合により公開いたしません。

この部分につきましては、
著作権の都合により公開いたしません。

この部分につきましては、
著作権の都合により公開いたしません。

この部分につきましては、
著作権の都合により公開いたしません。

この部分につきましては、
著作権の都合により公開いたしません。

この部分につきましては、
著作権の都合により公開いたしません。

この部分につきましては、
著作権の都合により公開いたしません。

この部分につきましては、
著作権の都合により公開いたしません。

この部分につきましては、
著作権の都合により公開いたしません。

この部分につきましては、 著作権の都合により公開いたしません。

問 1 下線部①「生存と遊戯という二つの意味で競争が人間と社会にとって重要であるにもかかわらず、競争の徹底がいくつかの危険性をはらんでいる」とはどういうことか、筆者の考えを 240 字以内で説明しなさい。

問 2 下線部②「現代民主主義の下では、こうした多元的評価システムを創り上げることはなかなか難しい」と筆者が考える理由を 300 字以内で説明しなさい。

問 3 この文章を踏まえ、社会における競争を過度に刺激したために「ゆがみ」や不正が生じているとあなたが考える具体例を一つ取り上げながら、その競争において適正さやバランスを保つためには、どのような評価・報酬の制度を創り、どのように運用すればよいかについて、論じなさい。取り上げる具体例は、筆者が挙げているものに限られません。字数は 500 字以上 600 字以内とします。